

2016年
12月10日
No.217

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24
さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

さざなみネット第8回定期大会

8時間働けばふつうに暮らせる人間らしい働き方を

全国金融産業労働組合（金融ユニオン）近畿支部滋賀分会（さざなみネット）は、11月11日大津市内において第8回定期大会を開きました。

浦谷分会長のあいさつに続いて、金融労連・滋賀銀行従業員組合の澤井書記長が次のようにあいさつしました。

アメリカの大統領選挙でトランプ氏が当選したが、この結果はグローバル資本主義・新自由主義の経済政策のもとで、格差と貧困が広がり、深刻な行き詰まりと矛盾に直面している反映である。

安倍政権は、TPP撤退を表明しているトランプ氏が米国大統領に当選した直後にTPPの採決を強行し、地球温暖化対策の新たな国際枠組み「パリ協定」では立ち遅れ、唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約の締結交渉を来年開始する国連決議に反対するなど、世界の動きを全く見ずに暴走している。

野党とママ、学生、知識人、労働者、農民等の市民の共闘が発展し、日本の政治は激動的な新しい時代に入った。

異常な金融政策や



地域金融機関の再編を促す動きなどで金融の職場は、大変な状態になっている。

闘う労働組合の必要性が大きくなってきている。人間らしい働き方の実現に向け、ともにがんばろう。

(議題)

- ・前大会以降の活動について
- 組合員と機関紙・交流会・電話やメールなどでつながり、ともに成長してきた。
- 毎月分会会議

を開催し、情勢や職場の状況について論議し、機関紙を毎月発行した。近畿地協・金融ユニオン・友好組合や民主団体の会議や集会などに参加し学習した。

- ・これからの運動について

上部団体などの運動方針に基づき、また金融政策や労働政策などを学習し、活動する。

- ・前年度決算・会計監査報告・予算(案) (省略)
- ・役員について

分会長 浦谷貞子、書記長 山崎幸雄、他省略
討論では職場の状況や経営計画、安倍政権の「働き方改革」(概要上記)、8時間働けばふつうに暮らせる人間らしい働き方、組合の役割、仲間とのつながり方などについて意見を交わし、全議案とも提案通り採択されました。

大会後、交流会を開き職場の状況や思いなどを出し合い、懇親を深めました。

安倍「働き方改革」とは

安倍政権は「日本1億総活躍プラン」を閣議決定し、「最大のチャレンジは働き方改革」と位置付けた。「同一労働同一賃金」「長時間労働の是正」など、労働者のためになるような言葉が並ぶが、聴こえの良さで裏腹に雇用の大改悪を進めようとしている。

「働き方改革」ここがダメ!

- ① **同一労働同一賃金**→低い方の賃金に「同一」化、「人材活動の仕組み」で正規・非正規の格差容認。
- ② **長時間労働是正**→残業の上限規制はあと回し。残業代ゼロ法案で働かせ放題に。
- ③ **最賃引上げ**→年率3%では時給1000円になるのは2023年。(貧困の固定化)



ザクロ 岩波 美智子さん 画

お知らせ
前号10月号は、10月の記事を掲載し、11月10日頃発行しました。10月号は10月中に発行をという意見があり、11月号を本号とし、今後毎月10日号として発行します。読みやすく身近な機関紙なるように、今後ともご協力をよろしく願っています。

憲法学習講演会

憲法は国家権力の乱用を抑制し 市民の権利を守る法規範

安倍首相は所信表明演説で、国会の憲法審査会で改憲案づくりの議論を進めていくと述べ、衆参両院での代表質問や予算委員会での答弁で、改憲を推進する発言を重ねています。また、自民党の改憲案を議論の「ベース」としています。現行憲法と自民党改憲案との違い、どこに問題がひそんでいるのかなど、学習を深めるため、11月19日長浜市のゆうあい神照（神照公民館）で憲法学習講演会が開かれ、さざなみネットから山崎書記長が参加しました。

講師の永芳明弁護士（滋賀弁護士会副会長・滋賀第一法律事務所）が「自民党の『日本国憲法改正草案』のポイントと問題点」と題して、スクリーンを使いわかりやすく講演されました。

永芳弁護士は、「憲法は国家権力の乱用を抑制し、市民の権利を守る法規範である。憲法で1番大事な条項は「個人の尊厳」（13条）だ。個人の自由を守るために、第3章で国民の権利義務を定め、天皇（第1章）、戦争の放棄（第

2章）の規定がある。また、第4章以下の統治機構、第9章の改正、第10章の最高法規も同様である」と近代憲法の歴史の到達点に立った日本国憲法の大切さを話されました。

また、自民党の「日本国憲法改正案」について①天皇の元首化②国旗・国歌強制③基本的人権の限界④国防軍の規定⑤緊急事態宣言の規定⑥憲法改正発議の緩和など、憲法が国民を縛る時代錯誤の反動的な内容となっていると批判し、憲法を守る世論を広げようと訴えられました。



講演をする永芳弁護士

とどけ！ 高江・辺野古へ平和守れのメッセージ コンサート&つどい 沖縄と本土が連帯し 基地強化の企みを許さないたたかいを

安倍政権は、沖縄県名護市辺野古の新基地建設、東村高江のオスプレイ着陸帯建設、伊江島飛行場でのF35戦闘機着陸帯建設などを、異常な強権をむき出しにして強行しています。沖縄と本土が連帯して、基地強化の企みを許さないたたかいを進めるため、「とどけ！ 高江・辺野古へ平和守れのメッセージ コンサート&つどい」



「今こそ立ち上がろう〜」川口さんの熱唱と踊りにコンサートも最高潮に

素晴らしい自然、高江住民の思いとたたかいの記録・ドキュメンタリー映画「いのちの森 高江」の上映に始まり、沖縄・高江のオスプレイ着陸帯建設ストップ・ヤンバルの森を守れのたたかいの先頭に立って、各地を飛び回り、歌い続ける川口真由美さんが心に響いた住民たちの怒り、悲しみそして希望の心情を歌い上げ、語りました。

会場のカンパと賛同広告協力金の一部も含め、10万円余が沖縄の現地「新基地建設反対名護共同センター」へ送られました。

最初に25分DVDを東村高江の自然とヘリパット建設反対の様子。川口さんや各住さんはもう何度も沖縄の辺野古や高江に足を運び、支援を続けておられます。旅費や宿泊はと気にかかりますが、私にできることは出口のカンパ箱にささやかな額を入れるだけ。この国本場に恥ずかしいです。

自分のこととして考え沖縄の人と連帯していきたい。（植木）

感想

近くの工場の事務所までミニコンサートが行なわれた。少しづつクラシックのレコードを集め、よく聞いていたこと、最近少なくなったが、地域でクラシックコンサートが年に1・2回は行われ、聴きに行ったことを思い出した。クラシック音楽になじみのない人にも生演奏を気軽に楽しめ、観客を50人前後にとどめて目の前での迫力ある生演奏が聴けるコンサートであった。1時間程であったが、ドボルザークやバッハなどのよく聞く曲目で、いろいろ解説もあり、よいひとときを過ごした。



バイオリンとピアノに聞き入る 近隣住民と工場の従業員

ひととき